

独立行政法人地域医療機能推進機構  
神戸中央病院  
公的医療機関等2025プラン

平成29年11月 策定

【基本情報】

病院名	神戸中央病院		開設主体	独立行政法人 地域医療機能推進機構		
所在地	兵庫県神戸市北区惣山町2-1-1					
許可 病床数	病床種別	一般	精神	結核・感染	療養	計
		424				424
	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
		8	416			424
稼働 病床数	病床種別	一般	精神	結核・感染	療養	計
		350				350
	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
		6	344			350
診療科目 H29.4 現在	(計 22 科) 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科					
附属施設	附属看護専門学校、附属訪問看護ステーション、附属介護老人保健施設、あんしんすこやかセンター、居宅介護支援センター					
常勤職員数 H29.4 現在	職種			職員数 (人)		
	医師 (歯科医師含む)			83		
	看護職員			297		
	医療技術職員			117		
	福祉・介護職員			44		
	教員			7		
	技能職員			14		
	事務職員 (副施設長含む)			52		
	合計			614		

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状（兵庫県神戸圏域）

当院の所在する兵庫県神戸圏域の人口（2015年4月1日時点）は1,551,558人となっており、うち65歳以上の人口は428,801人で高齢化率27.6%である。団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年頃まで高齢者人口が一貫して増加する見込みである。

医療施設数は、2015年4月1日時点で病院111施設、一般診療所1,619施設（うち有床70施設）である。

2014年度病床機能報告における稼働病床数は、高度急性期病床2,137床、急性期8,380床、回復期1,307床、慢性期3,207床の合計15,031床である。2025年における医療機能別の「必要病床数推計」と「病床機能報告」を比較すると、高度急性期・慢性期病床は若干の過剰、急性期病床は過剰、回復期病床は不足となっており、全病床数でも若干の不足である。

○将来の人口推計及び高齢化率の動向

年	年齢区分別推計人口（人）						高齢化率	
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	65～74歳 再掲	75歳以上 再掲	合計	65歳以上	75歳以上
2015年	187,776	934,981	428,801	220,756	208,045	1,551,558	27.6%	13.4%
2025年	158,643	873,962	468,701	179,845	288,856	1,501,306	31.2%	19.2%
2030年	144,022	838,417	477,493	175,988	301,505	1,459,932	32.7%	20.7%
2035年	134,813	787,894	488,591	189,141	299,450	1,411,298	34.6%	21.2%
2040年	127,719	719,226	509,611	209,648	299,963	1,356,556	37.6%	22.1%

○将来の病床数推計

病床機能	2014年度	2025年		差引	2030年	2035年	2040年
	稼働病床	医療需要	必要病床数		必要病床数	必要病床数	必要病床数
高度急性期	2,137	1,555	2,074	63	2,100	2,088	2,061
急性期	8,380	4,609	5,910	2,470	6,196	6,231	6,170
回復期	1,307	4,528	5,032	△3,725	5,310	5,349	5,307
慢性期	3,207	2,421	2,631	576	2,877	2,921	2,893
病床数計	15,031	13,114	15,647	△616	16,483	16,589	16,431

② 構想区域の課題

2014年度病床機能報告における稼働病床数は、高度急性期病床2,137床、急性期8,380床、回復期1,307床、慢性期3,207床の合計15,031床である。2025年における医療機能別の「必要病床数推計」と「病床機能報告」を比較すると、高度急性期・慢性期病床は若干の過剰、急性期病床は過剰、回復期病床は不足となっており、将来の医療需要に応じたバランスのとれた医療供給体制を整備する必要がある。また、2025年度以降も高齢者の増加に伴い入院患者数の増加が見込まれることも踏まえて、在宅及び入院の医療提供体制を検討する必要がある。

神戸圏域は全県的機能を持つ高度専門医療や先進医療の提供施設が集積していること、また、救急患者を確実かつ迅速に医療につなげられるよう、救急医療体制の維持・充実を図る必要があることを踏まえ、高度急性期病床、急性期病床は一定量を確保する必要がある。

### ③ 自施設の現状

#### (理念)

地域の皆さまに信頼される病院として、安全で質の高い医療を提供いたします

#### (基本方針)

- ・患者さんの知る権利と自己決定権を尊重します
- ・安心していただけるチーム医療を実践します
- ・良質な医療を提供できるよう自己研鑽に努めます
- ・地域の診療所や病院・福祉機関との連携を推進し、医療・保健・福祉の向上に貢献します

#### (病院の役割と特色)

- ・救急は24時間対応し、救急車搬入件数が神戸市北区の第二次救急指定病院の中で常に上位である。また、小児救急（輪番）の受入れ及び近隣医からの（小児）紹介患者の時間外の診療にも対応している。
- ・がん診療については、認定看護師を配置し、外科治療に加えて外来化学療法を行っている。
- ・看護専門外来の設置や教育入院及び医師・看護師・栄養士など多職種共同で糖尿病透析予防の指導など糖尿病への対応を実施している。
- ・22床の緩和ケア病棟を有し、地域の終末期医療の中心を担っている。
- ・臨床研修病院として研修医を受け入れると共に、看護専門学校を併設し看護師養成を行っている。
- ・血液透析、とりわけ腹膜透析は関西では有数の実績がある。
- ・神戸市北部地域で唯一健診施設を有し、年間5万人以上の生活習慣病予防健診等を実施、地域住民の疾病予防に貢献している。
- ・地域の在宅療養支援診療所と連携し、在宅療養患者の24時間緊急受入を行っている中心的病院である。
- ・老人介護保健施設において、在宅復帰支援機能の強化型取得
- ・訪問看護ステーションにおいて、強化型取得

#### (診療実績等)

- ・一般病棟入院基本料 7対1
- ・病床内訳 : 一般病棟(7病棟)320床、特定集中治療室(ICU)6床、緩和ケア病棟 22床  
(許可病床) 地域包括ケア病棟 60床、人間ドック 16床
- ・患者数

	26年度	27年度	28年度
入院患者延数(1日平均)	94,181 (258.7)	92,836 (253.1)	90,522 (248.0)
外来患者延数(1日平均)	158,053 (648)	156,395 (646)	150,315 (618.6)
病床利用率(稼働病床)	69%	67.9%	74.3%

### ④ 自施設の課題

神戸圏域は高齢者の増加に伴い入院患者の増加が見込まれること、救急医療体制の維持・充実を図る必要があることから、神戸市北区地域の中心的な病院として更なる医療提供体制の充実のため、医師・看護師等の医療従事者の安定的な確保が必要である。

地域のかかりつけ医との役割分担を推進するため、地域医療機関との連携強化及び当院の役割の再検討が必要である。

二次医療圏における当院が所在する神戸北区地域として考えた場合、公的医療機関が少なく、住民の高齢化もあり救急応需の要望も強く、地域包括ケアだけでなく、急性期医療も引き続き充実させていくことが求められている。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

神戸市北区地域の中心的な病院として、脳卒中及び虚血性心疾患への24時間対応及び救急医療などを中心とした急性期医療の提供体制を維持・充実していく。

地域医療推進室が中心となり病院附属機関の活用だけでなく、地域の医療と介護と生活の隙間を埋める存在として、神戸市北区の地域包括のハブ病院を目指す。

② 今後持つべき病床機能

現在の病床機能（急性期病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟）を維持する必要がある。

③ その他見直すべき点

現在休床中の74床については、地域のニーズに的確に対応するために医師確保の見通しが立ち、財政的に病院経営が成り立てば急性期病床として再稼働していきたいと考えているが、それが難しい場合には病床の返上及びその判断時期も含めて検討していきたい。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	6	→	6
急性期	3 4 4		3 3 6
回復期			6 0
慢性期			2 2
(合計)	3 5 0		4 2 4

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	○合意形成に向けた協議	○当院の今後の病床のあり方を決定（本プラン策定）	2 年 間 程 集 中 的 な 検 討 を 促 進
2018年度	○地域医療構想調整会議における合意形成に向け検討	○調整会議での議論を踏まえ、必要に応じて当院の病床のあり方の見直し  ○調整会議において当院のあり方に関する合意を得る	
2019～2020年度	○具体的な病床整備計画を策定（必要に応じて）		第7期 介護保険 事業計画  第7次医療計画
2021～2023年度			第8期 介護保険 事業計画

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

④ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u> (2025年時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病床稼働率：80%</li> <li>・ 手術室稼働率：40%</li> <li>・ 紹介率：70%</li> <li>・ 逆紹介率：90%</li> </ul> <p><u>経営に関する項目</u>*</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費率：50%以下</li> <li>・</li> </ul> <p>その他：</p>
---

\* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

<p>(地元医師会の意見)</p> <p>神戸市北区の中心的な病院(地域医療支援病院)として、救急医療体制など急性期医療の更なる充実を図るとともに、高齢化する地域のニーズに応えるため、在宅介護中や施設からの緊急受け入れ体制を維持・充実を図られたい。</p>
--